

総務経済委員会

スマート自治体への転換と、誰もが安心・快適に暮らせる持続可能なまちづくり

総務経済委員会は、財政・税務、商工振興、農政、防災、交通政策・防犯など、市の基盤や経済の振興に関わる多岐にわたる事項を所管しており、今年度は次の3項目を重点において活動します。

(1) 業務DXの取り組み状況について

人口減少や市民ニーズの多様化に対応するため、スマート自治体への転換が急務です。本市は「狭山市DX推進計画」に基づき業務効率化とサービス向上を着実に進めており、今後は本市の強みや立ち位置を検証の上、目指すべき方向性について調査します。

(2) 地域公共交通について

人口流出の抑制や高齢化への対応において「狭山市地域公共交通計画」の推進は極めて重要な課題であり、その取り組みや進捗について調査します。

(3) まちづくりの取り組み(防犯防災、人材育成、イベント)について

- ・防犯・防災施策の実施状況、自治会や自主防犯・防災組織の活動状況
- ・地域活動の担い手を育てる「さやま市民大学」の取り組み
- ・令和9年1月開催予定の「全国地紅茶サミット」に向けた準備や実施状況



(後列左から) 笹本英輔委員、千葉良秋委員、船川秀子委員、衣川千代子委員、金子広和委員、田中寿夫委員
(前列左から) 豊泉正人委員長、関根弘樹副委員長

文教厚生委員会

市民福祉の向上と教育環境の充実に注力

文教厚生委員会は、市民生活に直結する保健、福祉、子育て支援、教育等の分野を所管する常任委員会として市民福祉の向上と教育環境の充実および文化の発展に努めます。

今年度は次のテーマについて取り組みます。

(1) 保健(健康)分野

狭山市ふれあい健康センターに関する調査

(2) 福祉分野

- ・障害者団体との交流推進・課題提言
- ・孤立・孤独対策に関する調査

(3) 子育て支援分野

基幹型保育所に関する調査、待機児童解消に向けた取り組みに関する調査

(4) 教育分野

- ・「狭山市立小・中学校の規模と配置の適正化」に関する調査

・学校部活動の地域展開に関する調査
また行政視察により、先進市の事例を調査研究し市政に反映できるよう努めてまいります。今後も、市民の声を市政に反映させる視点を大切にし、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現に向けて活動を続けてまいります。



(後列左から) 福田正委員、太田博希委員、大沢えみ子委員、丸橋ユキ委員、内藤光雄委員
(前列左から) 広山清志委員長、菅野淳副委員長